

I. 2. 大学院生の研究業績

<言語文化専攻>

博士前期課程

博士前期課程 1年

中野晃希

口頭発表：

- ・「日本語の主格目的語に見られる作用域の不一致に関する一考察」日本言語学会第 159 回大会（名古屋学院大学）2019年 11月 16日.

博士前期課程 2年

浅野真菜

論文：

- ・「Disjunction in L1 Japanese imperatives」『Proceedings of the International Symposium on Monolingual and Bilingual Speech 2019』（Institute of Monolingual and Bilingual Speech） pp. 1-7. 2019年 12月.

口頭発表：

- ・「Disjunction in L1 Japanese imperatives」International Symposium on Monolingual and Bilingual Speech 2019（the Great Arsenal Conference Center）2019年 8月 30日.
- ・「Rhetorical imperatives: Expressing anti-preferences」Sinn und Bedeutung 24（Osnabrück University）2019年 9月 5日.

博士前期課程 2年

東浦可奈

口頭発表：

- ・「『家族 BL』で描かれる新たな家族像についての分析 — 「近代家族」との比較をとおして—」大阪大学言語文化学会第 56回大会（大阪大学）2019年 10月 26日.

博士前期課程 2年

岡田茉弓

口頭発表：

・「日本語学校における経営構造の問題—なぜ日本語学校は多国籍化したのか—」 2019 年度日本語教育学会
秋季大会（島根県立産業交流会館）2019 年 11 月 24 日.

ポスター発表:

・「技能実習のモデル事例に関する考察」 第 2 回リーディング学生と企業との交流会 PhD-Industry Networking
Day 2019（大阪）2019 年 11 月 6 日.

その他:

商業雑誌投稿

・岡田 茉弓/田尾 俊輔/大津 真実/川口 太郎/ヨシユア トリヨノプロト/岩泉 達也/戸井 誠人:「『立場』を超え
た協働に向けて—インドネシアでのフィールド・スタディーを通して考えたこと—」『国際開発ジャーナル』（国
際協力ジャーナル社）757 号、pp42-23、2020 年 1 月

DVD

・大阪大学万博プロジェクト「万博への提言」2019 年 12 月 12 日

博士前期課程 2 年

田尾 俊輔

論文:

・「住民と大学院生の協働によるまちづくり活動の展開—島根県隠岐の島町での活動報告—」『Co*Design』, 大阪大
学 CO デザインセンター, No. 8 (投稿中). (島田広之氏・中野将氏・岩泉達也氏・小島晋一郎氏との連名)

口頭発表:

・「この町の明日をともに考える—活動の報告を兼ねて—」この町の今と未来を語ろう—隠岐高校・大阪大学共同
企画&隠岐高校ジオパーク研究発表会・座談会—（於：隠岐島文化会館大ホール(まか)）, 2019 年 12 月 19 日. (島田
広之氏・中野将氏・岩泉達也氏との連名)

ポスター発表:

・“Cognitive Motivation for Choosing Prepositions in English Phrasal Verbs: With Special Reference to *At*-Phrases and *On*-Phrases.” 2019 Linguistic
Society of America Linguistic Institute (University of California, Davis), 14 July, 2019.

・「英語の句動詞表現における前置詞選択に関わる認知的要因—at 句と on 句を中心に—」第 2 回リーディング学生
と企業との交流会 PhD-Industry Networking Day 2019（於：ナレッジキャピタル カンファレンスルーム C01-02）, 2019 年
11 月 6 日.

- ・「まちづくりにおける観光客の役割とその課題―隠岐の島町でのワークショップから―」第4回豊中地区研究交流会（於：基礎工学国際棟セミナー室，ホワイエ），2019年12月17日。（島田広之氏・中野将氏・岩泉達也氏との連名）
- ・「超域アクティビティ・プラス活動報告―隠岐の島町でのワークショップの開催―」社会課題とは、統合とは？（於：理学研究科教育研究交流棟，南部陽一郎ホール），2020年1月22日。（島田広之氏・中野将氏・岩泉達也氏との連名）

その他：

- ・その他の所属：大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構 超域イノベーション博士課程プログラム部門（7期生，2018年10月より継続）
- ・話題提供：2019年度春～夏学期授業「学問への扉（大学教員という仕事）」（第5回目授業），2019年5月15日。
- ・ティーチング・アシスタント：2019年度夏学期および秋学期授業「大学授業開発論Ⅰ」，2019年度秋～冬学期授業「大学授業開発論Ⅱ」，2019年10月23日および2020年1月15日「論文指導」（於：大阪府立千里高等学校），2019年12月7日および2020年1月25日「課題研究指導」（於：京都府立鳥羽高等学校）
- ・活動費受給：大阪大学超域イノベーション博士課程プログラム 2019年度アクティビティ・プラス（グループ型）において2企画採択（「過疎地域における広報戦略モデルの再考（@岩手県野田村）」&「縁辺地域における教育機会格差是正のためのケーススタディワークショップの開催（@島根県隠岐の島町）」，島田広之氏・中野将氏・岩泉達也氏との連名）
- ・ワークショップ開催：2019年9月19日（於：島根県立隠岐高等学校），2019年11月20日（於：京見屋分店），2019年12月6日（於：京見屋分店），2020年1月31日（於：京見屋分店），2020年2月16日（於：京見屋分店）
- ・無料学習塾開催：2019年12月28日～12月30日および2020年1月4日～1月6日（於：隠岐の島町学生等宿泊研修施設（のぎのびハウス））
- ・大阪大学オープンキャンパスでの模擬授業実施：演題「ことばを科学する～ことばの謎とその解明に向けて～」，2019年8月9日（於：河合塾札幌校）および2019年8月17日（於：河合塾福岡校）
- ・ジャーナル執筆：「立場を超えた協働に向けて インドネシアでのフィールド・スタディーを通して考えたこと」『国際開発ジャーナル』，国際開発ジャーナル社，No. 757, pp. 42-43.（岡田菜弓氏・大津真実氏・川口太郎氏・ヨシユアトリヨノプロ氏・岩泉達也氏・戸井誠人氏との連名）
- ・プログラム修了：大阪大学未来の大学教員養成プログラム（プレFD），2020年3月。

博士前期課程2年

陳静怡

口頭発表：

- ・「バーチャルクラスで学ぶ日本語学習者の動機づけ変容に関するパイロットスタディー—オートノミーの視点からの一考察—」2019年日本語教育と日本学国際シンポジウム（中国・同済大学）2019年5月11日
- ・「中国の大学における観光日本語教育の現状と課題—観光業インターンシップでの調査結果をもとに—」中国日本語教育研究会2019年度学術大会&日本研究国際シンポジウム（中国・杭州師範大学）2019年11月（王健、陳静怡による共同発表）
- ・「自己主導型オンライン学習における動機づけプロセス—仮想学習環境における日本語学習の事例から—」日本自律学習学会2019年次大会（追手門学院大学）2019年12月1日

博士前期課程2年

LEE JOONGCHAN

口頭発表：

- ・「金俊平はなぜ女性に暴力を振るうのか？～DV 発生理論から読み解く梁石日『血と骨』～」、大阪大学言語文化学会第56回大会、2019年10月26日（於：大阪大学）

その他：

- ・大学コンソーシアム大阪 - 2019年度英語プレゼンテーションコンテスト3位、2019年12月15日（於：関西大学）
- ・ティーチングアシスタント：「総合英語 - Performance Workshop (前期)」 & 「Traditional Performing Arts in Contemporary Japanese Society (後期)」（於：大阪大学）
- ・個別指導型子ども英語教室レプトン：特別スピーキング講師に任命される、2019年3月6日（於：NPO フロ—Lepton 箕面市役所前教室）

博士後期課程

博士後期課程1年

大井良友

口頭発表：

- ・「「上位語型」同族目的語構文の動機づけ—名詞 laugh が生起するパターンを中心に—」英語語法文法学会第27回大会（北九州市立大学）2019年10月19日.

博士後期課程1年

黄 晨雯

論文：

- ・「中国のミステリー小説におけるトピック解析の試み」『言語文化学』（大阪大学言語文化学会）pp.1-17.

2020年3月.

口頭発表：

- ・「中国のミステリー小説におけるトピック解析の試み —雷米と鬼馬星の作品の比較考察を中心に—」大阪大学言語文化学会第55回大会（大阪大学）2019年6月27日.

博士後期課程1年

坂場 大道

論文：

- ・The Difference of Japanese *Uso* and English *Lie* from the Perspective of Speech Acts『言語文化学』（大阪大学言語文化学会）pp.35-55. 2020年3月.

口頭発表：

- ・「「嘘」と「冗談」～日本語と英語における＜真ではない発話＞の捉え方の違い～」大阪大学言語文化学会第55回大会（大阪大学）2019年6月27日.

その他：（←研究助成や講演、教材開発など。特になければこの項は削除して提出）

- ・平成31年度大阪大学未来基金グローバル化推進事業「研究留学助成金」競争的資金採択. 2019年5月.

博士後期課程1年

徐 玉

論文：

- ・「篠田正浩の映画『美しさと哀しみと』におけるレズビアン表象—川端康成の原作小説との比較から」、『〈文化〉の解読（19）—文化とメディア』大阪大学大学院言語文化研究科、pp.47-57、2019年5月.

口頭発表：

- ・「『華岡青洲の妻』（増村保造 1967）再考—女性の「ホモソーシャルな欲望」の視点から」、日本映画学会第8回例会（国士舘大学）2019年6月22日.
- ・「溝口健二の映画にみる女同士の絆—『お遊さま』（1951）を中心に」、表象文化論学会第14回研究発表集会（東京工業大学）2019年11月23日.

博士後期課程1年

張頌

口頭発表：

- ・「福島原発事故に関する中国テレビドキュメンタリーの批判的談話分析—二項対立構造を中心に—」第44回社会言語科学学会研究大会（同志社大学）2020年3月6日.

その他

ワークショップ：

- ・「教室場面での女性多人数会話における『笑い』の機能と性質—談話分析に表出する分析者の立ち位置—」社会言語科学学会第1回スチューデント・ワークショップ（桜美林大学）2019年9月15日。（児島麦穂、木場安莉沙、泉谷律子、オユナー・ノミン、児島麦穂、薛桃子、張碩、中川佳保、山本由実による共同発表）

博士後期課程1年

沈 吉穎

口頭発表：

- ・「外国人高度人材受入れ政策に関する批判的談話研究—内閣官房の公文書を中心に—」（大阪大学言語文化学会第55回大会）2019年6月
- ・「外国人高度人材受入れ政策に関する批判的談話研究—法務省、厚生労働省、文部科学省、経済産業省の公文書を中心に—」（情報保障研究会第23回）2019年7月
- ・「迷走する外国人高度人材の受け入れ—高度人材ポイント制による出入国管理上の優遇制度に焦点を当てて—」（多言語化現象研究会第72回）2019年9月
- ・「论日本の外国人高度人材引入政策问题：基于批判性话语分析」（中国日本語教育研究会 2019 年度学术大会&日本研究国際シンポジウム）2019年11月

博士後期課程1年

中川佳保

論文：

- ・「人はことばによっていかに傷つくか—ディスコーダンスの観点から」『日本語用論学会第21回大会発表論文集』（日本語用論学会）pp.191-194. 2019年6月.

ポスター発表：

- ・「『ことばによる傷つき』に関する言語コミュニケーション論的問いの導出—心理学的研究のレビューから—」第44回社会言語科学学会研究大会（同志社大学）2020年3月6日.

ワークショップ：

・「教室場面での女性多人数会話における『笑い』の機能と性質—談話分析に表出する分析者の立ち位置—」
社会言語科学会第1回スチューデント・ワークショップ（桜美林大学）2019年9月15日。（児島麦穂、木場安
莉沙、泉谷律子、オユナー・ノミン、児島麦穂、薛桃子、張碩、中川佳保、山本由実による共同発表）

博士後期課程1年

村上智里

口頭発表：

・「『日本語指導が必要な外国人児童生徒』研究における批判的談話分析アプローチの必要性」言語文化教育研究
学会 第6回年次大会（同志社大学）2019年3月7日

博士後期課程2年

王 一瓊

口頭発表：

・「言語的マイノリティー生徒への支援の仕組みおよびその実践：日米における高校教室の実態を例に」日本
言語政策学会第21回研究大会（関西学院大学）2019年6月

・「カリフォルニア州における言語的少数派の生徒をめぐる言語支援に関する考察：B 高校の実践に着目し
て」情報保障研究会（京都大学）2019年7月

・「教科学習の現場における外国人生徒の多言語使用の実態と課題—大阪府立特別高校の抽出授業に注目して
—」日本教育社会学会第71回大会（大正大学）2019年9月

・「外国人生徒の高校卒業後の進路形成に関する研究—大阪府立特別校の卒業生インタビューより—」日本
教育社会学会第71回大会（大正大学）（林貴哉、棚田洋平、伊藤莉央、櫻木晴日、植田泰史、今井貴代子、榎井
縁、山本晃輔氏との共同研究）2019年9月

・「多言語使用によるアイデンティティと立場の変更：取り出し授業における在日中国人生徒の言語使用を例に」
中国日本語教育シンポジウム2019年度大会（中国・杭州師範大学）2019年11月

その他：

・令和元年度人間科学未来共生博士課程プログラム挑戦的教育研究活動資金獲得

・「日米における言語的少数派の生徒をめぐる支援に関する一考察：政策制度とその実践から」NPO おおさか
こども多文化センター総会（招待あり）2019年5月

博士後期課程2年

小倉 永慈

論文：

・「われわれが何もしないために ——リチャード・パワーズの新作 *The Overstory* を読む——」 *Cultural Formation Studies I*, pp. 61-70. 2019年6月.

口頭発表：

・「疎外を「修正」できるか——Jonathan Franzen の *The Corrections* とエッセイをめぐる解釈の問題」日本アメリカ文学会関西支部例会（京都府立大学）2019年6月8日.

・「超越的な物語，あるいは終わりの物語 ——Richard Powers の *The Overstory* をめぐる，変化する解釈」日本アメリカ文学会全国大会（東北学院大学）2019年10月5日.

その他：

・「分断の真ん中に立つ人文学—現代アメリカ作家リチャード・パワーズと「われわれ」の環境問題」西尾総長との対話集会—私の研究と社会および世界—（大阪大学）2019年11月16日。（プレゼンテーション）

博士後期課程2年

野瀬 由季子

論文：

・「シラバス作成支援のためのルーブリックの試作」『日本教育工学会研究報告集』19巻3号，pp. 1-8. 2019年7月。（共著）

口頭発表：

・「In-service Japanese Language Teachers' Assessment of Teacher Development : The Case of a Japanese Language School」The 9th Asian Conference on Language Learning（都市センターホテル）2019年5月16日.

・「日本語教師の成長を支援する校内研修の方法に関する一考察 —授業観察制度に関わる指導者へのインタビュー調査から—」日本語教育学会春季大会（つくば国際会議場）2019年5月26日.

・「教室内でのインタラクションに於ける学習者感情の多角的分析—ビネット調査を通した多様な学習者の感情資本に着目して—」カナダ日本語教育振興会（ビクトリア大学）2019年8月7日.

・「日本語学校の授業観察における非常勤日本語教師の関わり方 —専任日本語教師の関わり方との比較から—」日本教育工学会秋季全国大会（第35回）（名古屋国際会議場）2019年9月7日.

・「日本語学校の日本語教師間での授業観察における観察者と授業者の関わり方の違い」第48回西日本 M-GTA 研究会（新大阪 GTC ビル）2019年9月15日.

・「Investigating contextual and dynamic aspects of diverse L2 learners' emotions and emotional strategies: Integrating multiple methods for emotional support」 The 3rd International Conference on Situating Strategy Use（大阪国際会議場）2019年10月13日.

・「Perezhivanie in L2 learning: An ecological perspective on the dialectical unity of cognition and emotion」第38回外国語教育質的研究会（青山学院大学）2019年12月14日.

その他（研修担当）：

・大阪大学学部生を対象とした Transferable Skills Workshop の担当者として、90分の研修「大学院生から学ぶ！効果的に伝えるためのプレゼン技法」を実施。2019年6月3日.

・大阪大学附属図書館のLS（ラーニングサポーター）研修担当者として、2時間の研修「セミナー実施に活かせるプレゼン技法」を実施。2019年7月10日.

その他（研究助成）：

・「英語学習者の継続的な自律学習を促す教室内アドバイジング：セッションを通じた認知と感情の縦断的变化」第1回アルク語学教育研究支援制度（B分野）（共同研究）

博士後期課程2年

林 貴哉

口頭発表：

・パネル「日本語教育における質的研究の現状と課題」（ディスカッサント）2019年度日本語教育学会九州沖縄支部活動。2019年7月20日.

・「ライフストーリー研究再考：在日ベトナム難民へのインタビューを振り返って」（ポスター発表）2019年度日本語教育学会九州沖縄支部活動（沖縄科学技術大学院大学）2019年7月21日.

・「在外ベトナム人コミュニティにおける声の発信：米国のベトナム語メディア関係者の語りから」日本オーラル・ヒストリー学会第17回大会（横浜市立大学）2019年9月8日.

・「外国人生徒の高校卒業後の進路形成に関する研究—大阪府立特別枠校の卒業生インタビューより—」（共同発表：林貴哉・棚田洋平・伊藤莉央・王一瓊・櫻木晴日・植田泰史・今井貴代子・榎井縁・山本晃輔）教育社会学会第71回大会（大正大学）2019年9月12日.

・「対面式タンドム学習における自律的な学習とその変化」（共同発表：林貴哉・蔡真彦）日本自律学習学会2019年次大会（追手門学院大学）2019年12月1日.

その他：

・研究助成「令和元年度挑戦的教育研究活動経費」大阪大学人間科学未来共生博士課程プログラム

・日本語ボランティア講座講師「学習者の生活視点を取り入れた日本語学習支援を考えてみませんか」神戸定住外国人支援センター研修会（ふたば国際プラザ）2019年7月7日.

・日本語ボランティア講座講師「日本語ボランティアの役割①：学習者の話に耳を傾ける」コミュニケーション重視の日本語ボランティア基礎講座：第2回（ふたば国際プラザ）2019年7月28日.

・日本語ボランティア講座講師「日本語ボランティアの役割④：学習者の生活を取り入れた学習活動」コミュニケーション重視の日本語ボランティア基礎講座：第6回（ふたば国際プラザ）2019年8月31日.

博士後期課程2年

POPOVA EKATERINA（ポポヴァ エカテリーナ）

論文：「The features of substandard lexicon used by medical workers in Japan (using medical slang of emergency departments as an example)」『Oriental Institute Journal』№3. pp.69-77.2019年11月.

口頭発表：

・「医療現場における業界用語の使用状況 —外国人看護師の学習支援に向けて—」専門日本語教育学会（金沢大学）2020年3月6日.

・「『配慮』の役割を果たす医療隠語の使用実態 —救命救急科の看護師へのインタビュー調査から—」言語文化教育研究学会（同志社大学）2020年3月7日.

博士後期課程2年

三野貴志

論文：

・“On the Subject Selection of the *There Came* Construction,” 『言語文化共同研究プロジェクト2018 認知機能言語学研究IV』 pp.41-50.2019年5月

・「「虚辞 + COME」存在文の類型論的調査～動詞にかかる制限と意味上の主語の意味タイプの関連性に関して～」『日本語用論学会第21回大会発表論文集14号』（日本語用論学会）pp.199-202.2019年6月

・“Sound Emission Verbs in *There* Constructions,” 『英語語法文法研究第25号』（英語語法文法学会）pp.72-91.2019年12月

・“The *There Comes* Construction and the Spatiotemporal Metaphor,” 『ことばから心へ 認知の深淵』 pp.42-52.2020年3月

口頭発表：

- ・「先行事象（発話）に対する評価を表す **There go** 構文」英語語法文法学会第 27 回大会（北九州市立大学）

2019年10月19日

- ・「一般動詞を伴う **There** 構文の構文論的分析：構文の機能と動詞（クラス）特定構文の関わり」日本英語学会第 37 回大会シンポジウム（関西学院大学）2019年11月10日

その他：

- ・第 10 回英語語法文法学会奨励賞授賞、2019年10月

博士後期課程 3 年

浅野元子

論文：

- ・「EMEMT コーパスにおける英語医学テキストの言語使用の検討」[A study of language use in Early Modern English Medical Texts (EMEMT).] 『言語文化共同研究プロジェクト 2018 テキストマイニングとデジタルヒューマニティーズ』[Language and culture research project 2018: Text mining and digital humanities] pp. 55–91. 2019年5月.

- ・「アカデミックリーディング授業実践報告: 専門分野の教科書・ニュース記事・論文を題材に」[Comparing discipline-specific genre texts in an academic reading course.] 『大阪医科大学紀要人文研究第 51 号』 pp. 63–83. 2020年3月.

口頭発表：

- ・「英日医学論文抄録対訳コーパスにおける句読法の研究」[A Study of the Use of Punctuation Marks in English-Japanese Parallel Corpora of Medical Research Article Abstracts.] 大学英語教育学会第 58 回国際大会（名古屋工業大学）野口ジュディー名誉教授、藤枝美穂教授と共著 2019年8月30日.

- ・「日本からの英語医学論文における collocation framework “the...of” の検討」統計数理研究所言語系共同研究グループ夏季研究会（大阪大学）2019年9月22日.

- ・「英語学習支援のための学術論文抄録英日パラレルコーパス利用: Collocation framework “the...of” の研究」[English-Japanese Parallel Abstract Corpora for English Study :the Collocation Framework “the ... of”.] 第 2 回 JAAL in JACET 学術交流集会（高千穂大学）藤枝美穂教授、野口ジュディー名誉教授と共著 2019年11月30日.

- ・「引用の仕方の予備研究: 学術論文への橋渡しを目指して」大阪大学言語文化共同研究プロジェクト研究会（大阪大学）2020年1月10日.

博士後期課程 3 年

勝部三奈子

論文：

・「時間外労働の「ホビー」というカテゴリー化:日本語教師へのインタビューにおける成員カテゴリー化実践」
『言語文化共同研究プロジェクト2018』 pp.31-40.2019年5月.

・「カテゴリー化を通して生まれる日本語教師の分断:インタビューの語りの会話分析」『言語文化教育研究』17号,
pp.255-276.2019年12月.

口頭発表:

・「日本語学校非常勤講師の「おもしろさ」と労働条件の受容: インタビュー参加者の成員カテゴリー化の実
践から」日本言語政策学会第21回大会(関西学院大学)2019年6月8日

・「インタビューにおける応答追求場面での主観的尺度によるスタンスの示し方:労働条件に受容に関する質問
に対する(元)日本語教師の回答から」社会言語科学会第44回研究大会(同志社大学)2019年3月6日

博士後期課程3年

川村明日香

論文:

・「東京ディズニーリゾート35周年を考える」『言語文化共同研究プロジェクト2018』 pp.31-42.2019年5月.

口頭発表:

・「地図がつくるハイパーリアル—ディズニーランドの記号論」大阪大学言語文化学会第56回大会(大阪大
学)2019年10月26日.

博士後期課程3年

木場安莉沙

論文:

・「「外国人」の表象に見られる「他者」構築のアプローチ—語学学校の広告を題材に—」『言語文化共同研
究プロジェクト 相互行為研究⑤—談話とポリティックス』(大阪大学言語文化研究科) pp.17-26. 2019年5月.

・「メディアに見る性的少数者の表象—再名づけの実践とイデオロギーの戦略—」『年報カルチュラル・スタ
ディーズ第7号』(カルチュラル・スタディーズ学会) pp.117-142.2019年6月.

・「バイセクシュアル・アイデンティティのナラティブ分析—アイデンティティの共時的構築を中心に—」
『社会言語科学22(1)』(社会言語科学会) pp.157-171.2019年9月.

口頭発表:

・“Shared discourse/anecdote of “Japanese-ness”: negotiation and performance of Japanese American/Nikkei/Shin-issei (Nisei)
identity” 名古屋社会言語学研究会(椋山女学園大学)2019年5月25日.

- ・ ““Japaneseness” in narrative: shared discourses, anecdotes and labelling of Japanese American/Nikkei/Shin-issei (Nisei) groups”
16th International Pragmatics Conference (香港理工大学) 2019年6月11日.
- ・ ““Otherness” in Japanese/Japanese Americans: Case Study in Bay Area” EJHIB2019 (Japan House, Sao Paulo) 2019年9月5日.
- ・ 「教室場面での女性多人数会話における「笑い」の機能と性質—談話分析に表出する分析者の立ち位置—」
『社会言語科学会第1回スチューデント・ワークショップ』(桜美林大学) 2019年9月15日.

博士後期課程3年

後藤秀貴

論文:

- ・ 「精神の座としての<腹>—身体部位詞の通時的観察と認知言語学的分析—」 『言語文化共同研究プロジェクト2018レトリックとコミュニケーション』 pp. 23-35. 2019年5月.

口頭発表:

- ・ 「精神作用を表す身体部位詞の史的展開 —<胸>と<頭>を中心に—」 日本認知言語学会第20回全国大会(関西学院大学) 2019年8月5日.

博士後期課程3年

銭 蕾

論文:

- ・ 「中国におけるヤオイ愛好者のイギリスドラマ『SHERLOCK』の受容—関係性の抽出と読み替え」 『比較文化研究』日本比較文化学会, 139, (刊行予定). 2020年3月.

口頭発表:

- ・ 「中国におけるヤオイの受容状況—関係性の読み替え: イギリスドラマ『SHERLOCK』を例に—」 大阪大学言語文化学会第56回大会(大阪大学) 2019年10月26日.
- ・ 「中国におけるヤオイ愛好者のイギリスドラマ『SHERLOCK』の受容—関係性の読み替えを中心に—中国におけるヤオイの受容状況—」 日本比較文化学会関西支部(同志社大学) 2019年12月7日.

博士後期課程3年

薛桃子

論文:

・「「意見を述べる」言語行動の日韓対照研究—「聞き手の私的領域」と「情報のなわ張り理論」の観点から—」『『韓国語教育研究第9号』(日本韓国語教育学会)pp. 122-140. 2019年9月.

口頭発表:

・「「特定秘密保護法とユダヤ人虐殺」ナラティブにみる在日コリアンの生きる社会」第5回カルチュラル・スタディーズ若手研究報告会 2019年12月21日.

・「「問い」と「答え」のズレからみるアイデンティティ—在日コリアン親子によるナラティブの分析から—」社会言語科学会第44回大会 2020年3月6日.

博士後期課程3年

竹村博恵

論文:

・「在韓日本人妻のエスニシティをめぐるアイデンティティ・ポリティクス」『言語文化共同研究プロジェクト 2018—相互行為研究⑤ 談話とポリティクス—』pp. 27-36. 2019年5月.

<言語社会専攻>

博士前期課程

博士前期課程1年

申 慧敏

口頭発表:

・「让步假设复句中中共现副词的意义制约关系—以“再 VP, 也~”为例」第九届东亚汉语教学研究生论坛(上海華東師範大学)2019年5月24日.

・「关于日语母语者副词“再”的偏误分析—以“再”表程度意义为中心」日本中国語学会関西支部例会(関西学院大学大阪梅田キャンパス K.G. ハブ スクエア大阪)2019年12月14日

博士前期課程1年

中村瑞樹

口頭発表：

- ・「Don DeLillo Underworld における野球表象から読み解くアメリカ野球史の恣意性」大阪大学言語社会学会・言語文化学会合同研究発表会（大阪大学箕面キャンパス）2019年6月27日.

博士後期課程

博士後期課程1年

原田一輝

論文：

- ・「失われた「秩序」を求めて—「グレート・ギャツビー」における大戦後の価値観の様相—」『Ex Oriente 第27号』大阪大学言語社会学会 2020年3月.

口頭発表：

- ・「幻影的カリスマの痕跡を辿る—*The Great Gatsby* と *Tender is the Night* におけるモノの表象をめぐって—」大阪大学言語社会学会・言語文化学会合同研究会（大阪大学） 2019年6月27日.

博士後期課程1年

青山瑞季

口頭発表：

- ・「1919年のカーロイ・ミハーイによる土地分割について」第8回関西ヨーロッパ地域研究フォーラム例会（新大阪コーポラス エクレア会議室）2019年6月16日.
- ・「1919年ハンガリーの土地改革の背景に関する一考察—カーロイ・ミハーイによる土地問題への取り組みを中心に—」2019年度春季阪大言語社会学会・言語文化学会合同研究発表会（大阪大学箕面キャンパス）2019年6月27日.

博士後期課程1年

藤崎拓海

論文：

- ・「インドネシア語会話における指示詞 *gitu* の談話的機能—引用標識としての機能に基づく「説得」と「和らげ」—」『社会言語科学会第44回大会発表論文集』（社会言語科学会）2020年2月. pp. 106-109

口頭発表：

- ・「インドネシア語会話における *gitu* の談話的機能」日本インドネシア学会第 50 回研究大会（大阪大学）2019 年 11 月 9 日
- ・「インドネシア語会話における指示詞 *gitu* の談話的機能—引用標識としての機能に基づく「説得」と「和らげ」」社会言語科学会第 44 回研究大会（同志社大学）2020 年 3 月 7 日
- ・「インドネシア語の雑談における話題転換—終わってないのに終わる話題」OSIP 記念フォーラム（OBP アカデミア）2020 年 2 月 22 日

博士後期課程 1 年

木下実紀

論文：

- ・「ペルシア語版『エスファハーンのハージーバーバーの冒険』における挿入詩」『イラン研究』（大阪大学）2020 年 3 月. pp-203-243.

口頭発表：

- ・“Literary Translation in the Qajar Dynasty”, Ito International Research Center Symposium. (University of Tokyo), June, 9th, 2019.

その他：

- ・2019 年度 日本科学協会 笹川科学研究助成「イラン近代における社会批判精神の表出—知識人による西欧文学の翻訳行為から—」（2019 年 4 月～2020 年 2 月、55 万円）
- ・2019 年度 大阪大学研究留学助成金（2019 年 11 月～2020 年 3 月、60 万円）

博士後期課程 2 年

太田匡亮

論文：

- ・「連用修飾語“耐心”と「辛抱強く／根気よく」の対照研究（充任状語的“耐心”与「辛抱強く／根気よく」的对比研究）」『2019 年度二語習得漢日対比研究“学习型”国際研究会（2019 年度第二言語習得中日対照研究「学习型」国際シンポジウム）』（大連理工大学外国語学院）2019 年 8 月. pp.44-49. （予稿論文 執筆言語：中国語）

口頭発表：

- ・「連用修飾語“耐心”と「辛抱強く／根気よく」の対照研究（充任状語的“耐心”与「辛抱強く／根気よ

く」的対比研究)」2019年度二語習得漢日対比研究“学習型”国際研究会(2019年度第二言語習得中日対照研究「学習型」国際シンポジウム)(中国・大連理工大学)2019年8月10日。(発表言語:中国語)

・「日本語の分岐点志向と中国語の分岐後志向」第十一届漢日対比語言学研究会(第十一回中日対照言語学シンポジウム)(中国・西安外国語大学)2019年8月24日。(発表言語:日本語)

・「VO結構“防X”的漢日対比研究(VO構造“防X”の日中対照研究)」2019年跨文化交際与漢日対比高端論壇(2019年異文化コミュニケーションと日中比較フォーラム)(中国・蘇州大学)2019年9月21日。(発表言語:中国語)

・「基於漢日造詞法的日本漢語學習者詞彙記憶策略(日中兩言語の造語法に基づく日本人中国語學習者の語彙記憶ストラテジー)」語言教学与文化傳播暨“双一流”背景下漢語國際教育學術研討会(日本語正式名称なし)(中国・中国政法大学)2019年10月12日。(発表言語:中国語)

・「動補結構“V起(来)”の日訳研究(動補構造“V起(来)”の日本語訳について)」第二屆中日語言与翻譯求索論壇(第2回中日言語・翻譯研究フォーラム)(中国・華僑大学)2019年10月19日。(発表言語:中国語)

・「聽說技能教学中的口訳訓練方法(聴解・会話の指導における通訳トレーニング法の応用)」“漢教菁英”漢語國際教育教學理論、实践与創新研討会(日本語正式名称なし)(中国・西安外国語大学)2019年12月21日。(発表言語:中国語)

その他:

・第十一回中日対照言語学シンポジウム博士フォーラム優秀賞(2019年8月24日 第十一回中日対照言語学シンポジウムでの口頭発表が対象)

・中日言語・翻譯優秀論文賞(2019年10月20日 第2回中日言語・翻譯研究フォーラムでの口頭発表が対象)

博士後期課程3年

伊澤亮介

論文:

・「伝統民間劇台本『長山遺録』とそのチュノムの使用状況について」『日本漢字學會報 第1号』2019年6月. pp.1-24.

口頭発表:

・“The Composition of non-Standard Nôm Forms in Some Documents of Vietnamese Folk Literatures” International Symposium “Culture, Religion, and Politics in Southeast Asia”(大阪大学)2019年10月31日.

・「ベトナムの民族文字チュノムの造字と正字・俗字意識について」日本漢字学会第2回研究大会(東京大学)2019年11月30日.

博士後期課程 3 年

近藤佑樹

論文：

・ “The Broken “Soldier” at a Camping Site: Battling against the Multi-layered Epidemic in Philip Roth’s Nemesis.” 『関西アメリカ文学 56 号』 (日本アメリカ文学会関西支部) 2019 年 10 月, pp.5-16.

・ 「「忘れられた戦争」の負傷兵—フィリップ・ロスの『インディグネーション』における「切断」と「接続—」 『英米研究 44 号』 (大阪大学英米学会) 2020 年 3 月, pp.111-126.

口頭発表：

・ 「空飛ぶ大統領、負傷兵、脅威のプロット—Philip Roth の The Plot Against America における『子供の恐怖譚』」
2019 年度秋季大阪大学言語社会学会・言語文化学会合同発表会(大阪大学言語文化学会第 56 回大会)(大阪大学)、
2019 年 10 月 26 日.

博士後期課程 3 年

清水美里

口頭発表：

・ 「The Yaw Dialect of Burmese: Some features different from standard Burmese」 TaLK (Theoretical Linguistics at Keio) 2019 Myanmar Linguistics, State of the Art) 2019 年 11 月 3 日.

博士後期課程 3 年

石田美香

口頭発表：

・ 「沖縄陪審制の実態と功罪」日本アメリカ史学会第 16 回年次大会 (福岡大学) 2019 年 9 月 22 日.

博士後期課程 3 年

池田 有里

口頭発表：

・ 「高等学校のロシア語教育」日本ロシア語教育研究会 西日本地区例会 (神戸研究学園都市 大学利用施設 UNITY) 2019 年 7 月 14 日.

博士後期課程3年

高田友紀

論文：

- ・「小经拼写法的地域差异——以两本《伊斯兰信仰问答》为例」『元史及民族与边疆研究集刊』第三十五辑（南京大学元史研究室/民族与边疆研究中心、中国南海研究协同创新中心）2018年6月. pp.296-309.
- ・「小儿锦拼写法の两套系統研究——以《中阿双解字典》为例」『丝绸之路研究集刊』第四辑（陕西师范大学历史文化学院 陕西历史博物馆、陕西师范大学人文社会科学高等研究院编）2019年11月. pp.162-169.

<日本語・日本文化専攻>

博士前期課程

博士前期課程2年

YUAN XIN

論文：

- ・「近代における女性用海水着の日本化」『日本語・日本文化研究第29号』（大阪大学大学院 言語文化研究科 日本語・日本文化専攻）2019年12月. pp.371-380.

口頭発表：

- ・「近代における女性用海水着の日本化」比較文明学会第37回大会（中央大学）2019年11月17日.
- ・「日本における『シマウマ海水着』の誕生と発展」日本衣服学会第71回大会（和洋女子大学）2019年11月30日.

その他：2019年日本衣服学会「優秀発表賞」（日本衣服学会第71回での研究大会発表が対象）

博士前期課程2年

CIOLCARALUCAMARIA

口頭発表：

- ・"Predicative Adjectives and the Relative Clause: A Comparison between Japanese and Romanian" Japan: Pre-modern, Modern and Contemporary Conference, 7th edition ("Dimitrie Cantemir" Christian University, Bucharest, Romania) 2019年9月4日.
- ・「日本語の連体修飾環境における形容詞と動詞の相違点—連続した形容詞・動詞を中心に—」2019年度秋季大阪大学言語社会学会・言語文化学会合同研究発表会（大阪大学）2019年10月26日.

・「トキ節におけるル形・タ形の使用状況と指導方法—ルーマニア人日本語学習者を対象に—」外国語教育学会 (JAFLE) 第 23 回研究報告大会 (東京外国語大学) 2019 年 12 月 14 日.

博士前期課程 2 年

久保亜樹

論文:

・「類型の枠を超えた学習者の多様性—タイの日本語専攻学生の言語マップと言語ポートレートの分析」『日本語・日本文化研究』29 号 (大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻) 2019 年 12 月. pp.340-349.

博士前期課程 2 年

LI MINJIA (リ ビンカ)

口頭発表:

・「宝塚歌劇団の教育文化史—戦前を中心に—」日本語日本文化教育研究会第 36 回発表会 (大阪大学中之島センター) 2019 年 9 月 21 日.

博士後期課程

博士後期課程 1 年

ヘッティヤーハンディ・ワッサラー・ディシルワ (Hettiyahandi Wathsala De Silva)

論文:

・「「させていただく」表現の使用における広がり —その構造的側面—」『間谷論集 第 14 号 (2020)』(日本語日本文化教育研究会) 2020 年 3 月. (発行予定)

・「なぜ「拝見させていただきます」が使われるのか」『第 8 回日本語・日本文化国際フォーラム論文集』(大阪大学日本語日本文化教育センター) 2020 年 3 月. (電子版発刊) pp.135-143

口頭発表:

・「なぜ「拝見させていただきます」が使われるのか」第 8 回日本語・日本文化国際フォーラム「The Forefront of Japanese Language and Culture Education in Japan and Beyond」(マヒドン大学) 2020 年 2 月 15 日.

博士後期課程1年

平野 啓太

口頭発表：

- ・「推量を表す助動詞群の形成に対する構文スキーマの役割」日本語文法学会第20回大会（学習院大学）2019年12月7日.

博士後期課程1年

汪聞君

論文：

- ・汪聞君, 西村英希「文末における「もう」の振る舞い」『ことばから心へ—認知の深淵—』（開拓社）2020年3月. pp.132-142.
- ・「文末における代名詞と「拡張（何ヲ）とがめでたて文」との類似性」『日本語・日本文化研究第29号』（大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻）2019年12月. pp.290-299.

口頭発表：

- ・汪聞君, 劉玲芳, 高井美穂「ワークショップ：研究テーマの見つけ方」第36回日本語・日本文化教育研究会（大阪大学中之島センター）2019年9月21日.
- ・「文法的体言化から語彙的体言化へ—中国語身体部位名詞の意味特殊化プロセスについて—」大阪大学体言化研究会2019年度例会（大阪大学）2019年12月11日.
- ・「中国語・タイ語・ベトナム語の文末における指示代名詞の態度表出機能—日本語との対照を通して—」第8回日本語・日本文化国際フォーラム（タイバンコク・マヒドン大学）2020年2月15日.

その他：

- ・「研究テーマの探し方（教育篇）」大阪大学附属図書館講習会（大阪大学）2019年7月16日.
- ・「分野別レポート入門（言語編）」『テーマ別パスファインダー：るくぱす』（大阪大学外国語図書館）2020年2月.

博士後期課程2年

SUVANAKOOT PATCHARAPHAN

論文：

- ・「タイ人日本語学習者の接続詞「そして」の使用状況および要因」『日本語・日本文化研究 第29号』（大阪大学言語文化研究科）2019年12月. pp.300-309.

・「ストーリーテリングにおける日本語母語話者とタイ人日本語学習者の接続表現の使用—「そして」を中心に—」『第 8 回日本語・日本文化国際フォーラム論文集』（大阪大学日本語日本文化教育センター）2020 年 3 月、pp.144-154.

口頭発表：

・「タイで使われている日本語教科書における「そして」「だから」の導入の問題点—タイ人学習者による使用状況と比較して—」第 35 回日本語日本文化教育研究発表会（大阪大学）2019 年 6 月 29 日.

・「ストーリーテリングにおける日本語母語話者とタイ人日本語学習者の接続表現の使用—「そして」を中心に—」第 8 回日本語・日本文化国際フォーラム（タイ・マヒドン大学）2020 年 2 月 15 日.

博士後期課程 2 年

クイ シェンキアン

論文：

・「日本語とクメール語における勧誘会話の対照研究—断り会話の構造を中心に—」『日本語・日本文化研究』2019 年 12 月、pp.268-279

・「気づきにくい学習者／母語話者間のミスコミュニケーション：V-テミルと韓国語 V-boda、タイ語 koy-V-duu、クメール語 sak-V-mòl との対照」『日本語・日本文化研究』2019 年 12 月、pp.157-176 （共同研究）

・「日本語とクメール語の勧誘会話〈交渉部〉—「行き先・店・食べ物」の交渉の発話連鎖に着目して—」『間谷論集』14号、印刷中

博士後期課程 2 年

Toh Evelin Adrienn（トート・エヴェリン・アドリエン）

論文：

・「19 世紀後半から 20 世紀前半におけるアイヌ音楽に対する評価—外国人の評価を中心に—」『第 8 回日本語・日本文化国際フォーラム論文集』（大阪大学 CJLC 日本語・日本文化教育研修共同利用拠点事業）2020 年 3 月、pp. 169-177.

口頭発表：

・“Peasant Art Movement in Hokkaido in the 20th Century: Tokugawa Yoshichika’s Contribution” 7th International Conference: “JAPAN - PREMODERN MODERN AND CONTEMPORARY” (Dimitrie Cantemir Christian University) 2019. September 3rd.

・“Evaluation of Ainu Music from the Mid-19th to the Mid-20th Century: Focusing on Foreigners’ Opinions” The 8th International Forum on Japanese Language and Culture: “The Forefront of Japanese Language and Culture Education in Japan and Beyond” (Mahidol University) 2020. February 14th.

博士後期課程3年

ターインタ プーワット

論文：

- ・「日・タイ語日本語学系の学術論文の提言部分におけるモダリティの使用—結論の提言におけるモダリティの使用を中心に—」『タイ国日本研究シンポジウム 2018』2019年4月. pp.192-196

口頭発表：

- ・「男性同性愛者向け出会い系アプリにおける自己紹介文の内容の特徴の日・タイ比較考察」2019年度春季言語社会学会・言語文化学会合同研究発表会（大阪大学）2019年6月27日
- ・「『評価』『今後の課題』におけるモダリティの使用—日本学に関する学術論文を中心に—」第50回アカデミック・ジャパニーズ・グループ研究会（東京海洋大学）2020年2月8日

博士後期課程3年

金吉任 (KIM Killim)

論文：

- ・「文末のカラ — 「一人称動作主+カラ」を中心に—」『第8回日本語・日本文化国際フォーラム論文集』（大阪大学日本語日本文化教育センター）2020年3月. pp.85-94.

口頭発表：

- ・「文末のカラ — 「一人称動作主+カラ」を中心に—」第8回日本語・日本文化国際フォーラム (Mahidol University) 2020年2月15日.

博士後期課程3年

千々岩宏晃

論文：

- ・「『記憶の心的述語』によって自己修復される際の語の選択に関する分析」『日本語・日本文化研究』（大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻『日本語・日本文化研究』編集委員会）2019年12月. pp.214-227

博士後期課程3年

米澤千昌

論文：

- ・「複数の言語文化環境で育つ子どもの学びを育む支援に関する一研究—子どもの情報発信に着目して—」

『日本語・日本文化研究』第28号（大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻）2019年12月. pp.243-257.

・「複数の言語文化環境で育つ子どもの学びを育む支援環境構築に関する一研究―校内連携による支援体制の変化に着目して―」『神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学会紀要』第5号（神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学会）2020年3月.

口頭発表：

・「日本語支援教室で見られた子どもたちの複言語・複文化能力を探る―大阪府公立 H 小学校での実践より―」日本言語政策学会第21回研究大会（関西学院大学）2016年6月9日.

その他：

・兵庫県 2019（平成 31）年度日本語指導支援員等研修会「日本語初期指導 指導方法」講師（県立のじぎく会館）

2019年6月.

・NPO 東大阪日本語教室 2019年度第1回ボランティア研修会「外国にルーツを持つ子どもたちへの支援の現状と課題―事例をヒントに何ができるか考えよう―」講師（大阪樟蔭女子大学）2019年9月.

・大阪府池田市立池田小学校教員研修「池田小学校での外国人児童教育」講師（大阪府池田市立池田小学校）2020年3月.